

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－防衛庁、
防衛施設庁－(3)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 防衛庁, 沖縄調査団, 試射場 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43393

山上防犯施設が長官、訪沖

秘
無期限

アメリカ局長

参事

安全保障課長

北米才一課長

防衛施設庁長官の訪沖に因り
琉球新報の報道につき

45.5.21
米北

山上防衛施設庁長官が6月中旬沖縄
を訪問する旨の5月19日付琉球新報

記事(右取組)に於て、21日同庁
才首佐田課長林補佐の照会に依り

下記のとおり、同記事は掲載の旨に
依り、Y-2も不明との由である。

山首才一。

記

GA-5

外務省
1063

1. 山上長官の訪沖計画は現在のところ
何と云ふに依り。嘗て3月頃、長官

は訪沖に現地事情を直接把握し
たいとの意思を示し、2日間の

日程の計画を提出されたが、その
国会等の関係もあり、取りやめた経緯

がある。結局の所、訪沖の機会を消す
に依りし。

2. (中野格防衛庁長官の訪沖につき、米北
記事の論拠に依りし)

中野格長官の訪沖計画は、米北に依りし
に依り、米(防衛省)を中心として(佐田

才一の人を名に依りし由)、これ、米北の内部の
部員及び防衛施設庁のスタッフを加え、自

GA 6

外務省

衛隊機、この沖つと計画がある
と計画している。二ヶ月復帰後、自

衛隊の沖縄への展開計画を案出した
のが主目的で、防衛施設庁の追加

以期最早のころに消極的であり、考
議部に参加したい（建設部は1名参

加したい）方針がある。

防衛施設庁長官も来月訪沖
雇用形態などで懇談

【東京】防衛施設庁長官は、このほど来月中旬にも沖縄を訪問する予定を明らかにした。また中曽根防衛庁長官も国会終了後の訪米途中、訪沖を三回以上はしていることから、あけ前後に防衛関係のトップ・クラスが沖縄を訪れることになるであろう。

防衛施設庁では、沖縄の海軍補給基地の重基地、雇用関係などの事務を一手に引き受けることとなるため、この四月には本土政府として初めての沖縄現地調査団を立ち上げ、その報告をもとに調査した。そのため、山土長官としては、渡洋後の沖縄防衛施設関係の調査、土地契約、雇用形態の切り替え、基地の整理統合などに備えて、現地関係者と懇談するため訪沖を決めた。

なお、沖縄基地調査の報告は、今月末ごろ発表される。

48.5.19 (1) 琉球新報 (1面)

三
月
九
日